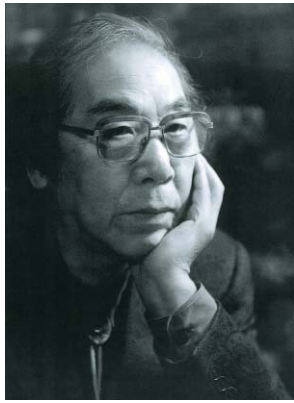


特別展

藤田喬平

雅の夢と
ヴェニス
の華



撮影：相澤寛

2008年

3月8日(土)
—5月11日(日)

●休館日

4月15日(火)

●開館時間

午前9時～午後5時
・入館は閉館の30分前まで
・3月中は午後4時30分で閉館します

●会場

石川県能登島ガラス美術館

●入館料

個人 800円
団体(20名様以上) 700円
中学生以下無料

●主催

七尾市
財団法人能登島ガラス美術館振興財団
NHK金沢放送局
NHK中部ブレイズ*
日本経済新聞社

●後援

日本ガラス工芸協会
市川市

●協力

藤田喬平ガラス美術館

*4/1よりNHKプラネット中部に社名変更

ガラス芸術で初めて文化勲章を受章した藤田喬平。1921(大正10)年東京に生まれ、戦後まもなくガラス作家として独立。研鑽を積み、独自の境地を極めました。

1970年代に江戸時代の琳派の装飾様式をガラスに甦らせた画期的な作品「飾篭」が海外でも高い評価をうけ、1977(昭和52)年からは毎年ヴェニスのムラーノ島で制作にはげみ、天性の造形感覚・色彩感覚をもって実験的オブジェや個性豊かな花器などを生みだしました。また、常に日本の現代ガラス界をリードし、ガラス芸術の発展にも貢献しました。

本展では代表作「飾篭」やオブジェの大作を中心に約150点が一堂に会し、1964(昭和39)年から2004(平成16)年に83歳で亡くなるまでの足跡を辿ります。日本を代表する世界的なガラス作家 藤田喬平が生涯をかけて探求したガラス芸術の全貌をご観覧ください。



1



2



3



4



5



6



7

- 1 虹彩/1964年/東京国立近代美術館所蔵
- 2 追う風/1991年/東京国立近代美術館所蔵
- 3 瑞巖寺を想う/1995年/藤田喬平ガラス美術館所蔵
- 4 飾篭「湖上の花」/2003年/個人所蔵
- 5 ヴェニス花瓶/1994年/藤田喬平ガラス美術館所蔵
- 6 鶴鳴/2004年/北海道立近代美術館所蔵
- 7 皆貝/1997年/個人所蔵

会期中のイベント

●ギャラリートーク *高校生以上の方は入館料が必要です。

「父、藤田喬平の遺したもの」ガラス作家 藤田潤 氏
3月8日(土) 14:00～15:00 エピソードを交えての作品解説を行います。

●学芸員による展示解説
3月15日(土)、3月29日(土)、4月12日(土) 14:00～15:00

●わくわくワークショップ *高校生以上の方は入館料が必要です。

●モザイクガラスで作ろう! 夢のハコ 【参加費200円から】
3月22日(土)・23日(日) 10:00～11:30、13:30～15:30
色ガラス片をボンデで貼ってモザイクガラスの小物入れを作ります。

●空き瓶に描いて作ろう! 飾りピン 【参加費600円】
4月26日(土)・27日(日) ①10:00～12:00 ②13:30～15:30
定員各10名程度、4/20までに要申込み
アクリル絵具で模様を描いてオシャレな飾りピンにリメイクします。

●次回企画展●

「江戸時代の小粋なガラス ～びいどろ・きやまん～」(仮題) 2008年7月19日(土)～9月29日(月) 予定



〒926-0211 石川県七尾市能登島向田町125-10 Tel (0767) 84-1175 Fax (0767) 84-1129
<http://www.city.nanao.lg.jp/glass/index.html>

交通案内

電車・バス：JR和倉温泉駅から能登島交通バス「のとしま臨海公園行き」に乗車、約30分。「美術館前」下車すぐ。
車：能越自動車道田鶴浜料金所(能登有料道路徳田大津JCT経由)から車で約25分。
飛行機：能登空港から「ふるさとタクシー」で約1時間(片道1,300円)。

